

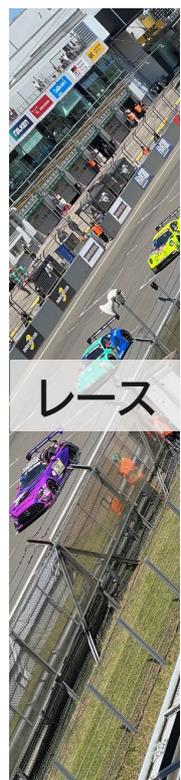
スーパーフォーミュラ(2025年3月時点)

<スーパーフォーミュラとは>

走る道

走る人

選手権の種類



フォーミュラカーレース

タイヤ剥き出しで屋根のない一人乗りのレース専用車で速さを競うレース
F1、インディーカー、スーパーフォーミュラ

ハコ車レース

Prototype Car

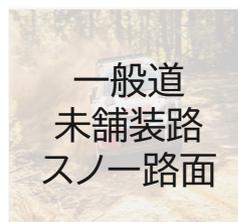
レース専用につ造られているスポーツカーで速さを競うレース
WEC(世界耐久) 等

GT Car

市販スポーツカーをレース用に改造したクルマで速さを競うレース
SUPER GT 等

Touring Car

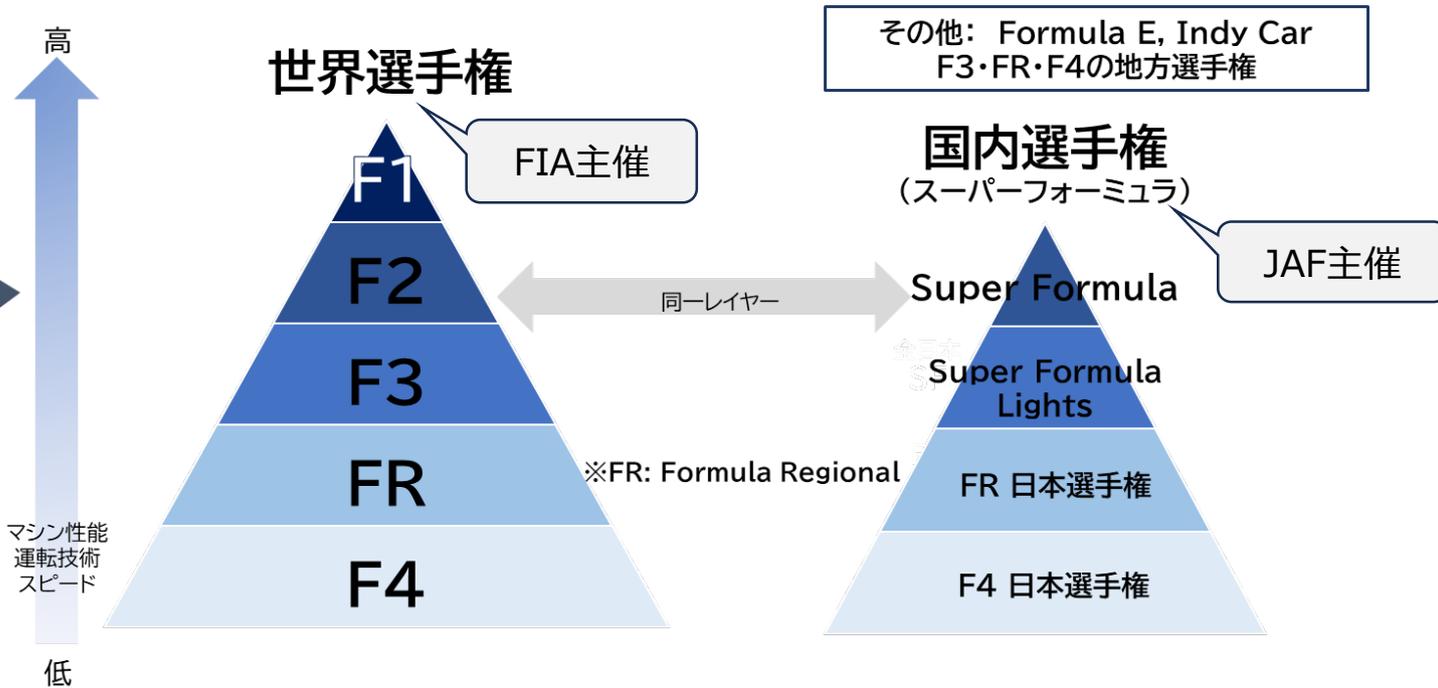
クーペやセダンをレース用に改造したクルマで速さを競うレース
スーパー耐久 等



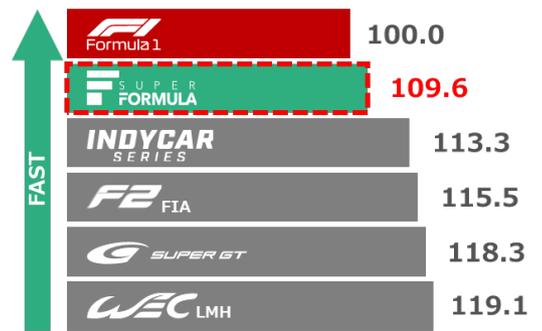
ラリー

市販車をレース用に改造したクルマで世界中のあらゆる道で速さを競う競技
WRC(世界ラリー)、全日本ラリー等

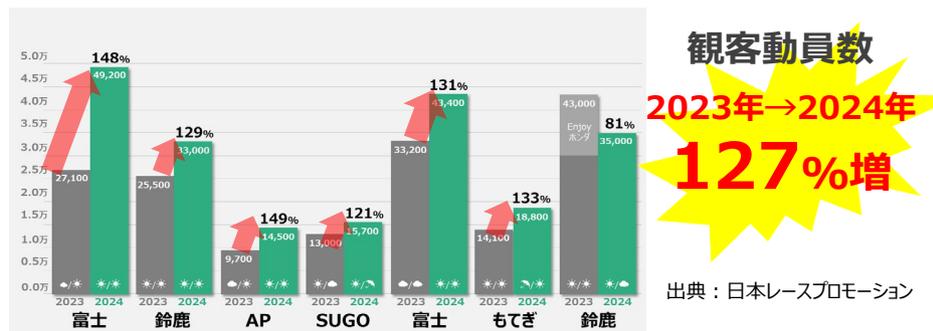
頂点のF1を目指し下層カテゴリーから若い才能が腕を磨き上っていく



▽F1に次ぐ世界トップレベルのスピード



▽観客動員数の増加



スーパーフォーミュラ(2025年3月時点)

<2023年は国内トップフォーミュラ50周年>

国内トップフォーミュラの遍歴

トップフォーミュラへの階層

1973 全日本F2000選手権

1978 全日本F2選手権

1987 全日本F3000選手権

1995 日本レースプロモーション(JRP)発足

1996 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン

2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 現在の名称

2021.10 NEXT50 プロジェクト発足

2023 **国内トップフォーミュラ50周年**

国内最高峰

SUPER FORMULA

SUPER FORMULA LIGHTS

FR

F4

Super FJ

KART

<スーパーフォーミュラの車両特徴>

車体(ダラーラ製)

SF23 | 550馬力以上 677kg(ドライバー含む)

カウル素材の一部に麻を使用し製造工程でCO2を約75%削減



エンジン

トヨタ製
TRD/TRD01F



ホンダ製
M-TEC/HR-417E



タイヤ(横浜ゴム製)

ADVAN
サステイナブル素材33%使用



共通ダンパー

2024年より共通化



エンジンのルール

直列4気筒 2.0リットル ターボエンジンで550馬力以上を発生。エンジンは**年間2基まで**使用可能、それ以上の使用は決勝レースのスタート位置が10グリッド降格のペナルティとなる。

タイヤのルール

ドライタイヤは1レースで新品3セットと持越し3セットの合計6セット使用可能。ウェットタイヤは新品6セット使用可能。2023年よりサステイナブル素材33%を使用したカーボンニュートラルタイヤを使用。
※2レース制の場合は1レース目で新品3セットと持越し3セット。2レース目は新品2セットと持越し4セット